

# 八江桜のさとだより

2020年  
9月

【発行・編集】川戸地域コミュニティ協議会

〒699-4226 江津市桜江町川戸11-1 ☎ 0855-92-0026

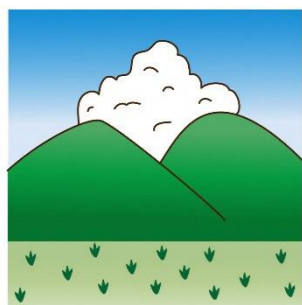
Gmail:sakuraekawado@gmail.com

URL:https://www.facebook.com/kawado.community

【地域づくりの基本理念】誰もが支えあい、安心して暮らせる活力ある地域づくり



1



朝霧が晴れて、江の川に朝日が差し込んできます。7月には、大雨による災害をもたらした大河も、日頃は自然の恵みと、美しい風景を与えてくれます。そういえば、年配の方はご存知でしょうが、川戸小学校と江陵中学校の校歌の出だしは、どちらも朝霧でしたよね。川戸を象徴する風景だったのでしょう。夏休みは、毎日この川で泳いでいたし、夜にウナギを釣りにも来ました。懐かしい思い出の詰まった川です。ちなみに川戸小学校校歌の歌いだしは「朝霧晴れて江川の♪」、江陵中学校校歌の歌いだしは「邑智群山霧晴れて♪」皆さん覚えてますよね。

## ～お知らせコーナー～

### 9月の行事予定

- 5日 桜江中学校運動会（入場制限あり）
- 20日 桜江小学校運動会（体調不良者制限）
- 26日 さくらえ保育園運動会（入場制限あり）
- 26日 乳がん検診（保健センター）

### 9月のサロン開催

サロンこしかけ（川戸）	10日・24日	9時～
サロンさくら会（川戸）	14日	10時～
サロンももやま（小田）	5日・19日	9時～
サロンすみれ会（小田）	16日	10時～
サロン菖蒲会（三田地）	10日（第2木）	10時～

### 秋のイベント中止のお知らせ（桜江町関係）

- ・桜江いきいき祭り
- ・第43回桜江神楽共演大会
- ・川戸地区民体育大会
- ・秋まつりの川戸・小田の神楽

### 「ウイルスに負けない体づくりチャレンジ」

#### 継続のお願い（健康づくり推進会）

新型コロナウイルスの感染が治まらない中、新型コロナウイルスに負けない体と心づくりのため、江津市健康医療対策課が実施している標記チャレンジの取り組みを、3月まで引き続きお願いします。用紙は協議会事務局にありますので、お気軽にお寄せください。

前月分の提出は毎月10日までをお願いします。

チャレンジ達成者には、豪華粗品が贈呈されますよ。

### 川戸地区の動向 （7月末現在）

総人口 **570人** (-1)  
男 **269人** (-1)  
女 **301人** (0)  
※ ( ) は前月比  
世帯数 **276世帯**  
65歳以上人口・高齢化率  
男 **100人 (37.17%)**  
女 **154人 (51.16%)**



### 9月の川戸交流センター教室

山野草教室	川柳教室	生け花	桃山短歌会	ハンドメイドの会	書道教室	仲よし会	100歳体操	ポールエクサ教室	パソコン教室	さわやかスポーツ
※変更等については、各自でお問い合わせください。	第3日	第1金	12日水	第2木	第2土	第4土	第2・4木	第1・3火	金（第2除）	水・木・金
	午前9時半	午後1時半	午後1時半	午前9時	午後1時半	午後2時	午後8時	午後1時半	午前10時	午後1時
	指導室	指導室	相談室	指導室	指導室	指導室	指導室	指導室	指導室	桜江中G

実施期間 令和2年 9月21日(月) - 30日(水) までの10日間

秋の全国交通安全運動

ルールを守って確実にマナーを磨いて美しく

目指せ事故のない安全な島根!!

第9回日本学生選手権水泳競技大会男子3m飛込競技 優勝者 須山晴貴選手（島根大学）

### 広げよう 事故ゼロしめの思いやり

江津市・江津警察署・江津市交通安全対策協議会・江津市交通安全協会・江津地区安全運転管理者協会

JA 島根おおち地区本部の婦人部から、7月の災害被災のお見舞いとして、タオル50枚をいただきました。避難所の備蓄として利用したいと思います。

【編集後記】新型コロナウイルス感染対策で、例年行われていた行事やイベントが中止になっています。地域の皆さんが集い、つながる機会が激減しています。早く活気のある地域を取り戻したいものです。

8月5日、川戸地域コミュニティ協議会健康福祉部と川戸支会の共催による「小学生親子とのふれあい会」が開催されました。

参加した小学生19人は、高齢者にあてた暑中見舞いを作成した後、今井美術館で「みはしたかこ原画展」を鑑賞しました。

暑中、徒歩で美術館を往復した後、美味しい昼食とデザートで元気を取り戻しました。

暑中見舞いは届いたでしょうか。



**川戸交流センター川柳会**

強かに世界を駆けるコロナ菌  
わたしにも大波小波ありました  
ドラエモン波を出してと頼む孫  
良い仲間本音で肩の荷が下りる  
から揚げはみんな大好き腕ふるう  
大橋に笑いの花が咲いている  
強かのコロナに負けずマスク縫う  
賑やかな声につられて足が向く  
残したいわが足跡の金メダル  
人生の大波小波くぐり抜け  
強かな猿の軍団芋を掘る  
強かな草を相手に蹴ふるう

寺本美代子  
岡口 静江  
坂越智砂江  
澤津 栄子  
船津 里子  
石田 基美  
原田 花緒  
小笠原礼子  
吉岡 房子  
堀 喜久子  
酒井 仁子  
大屋みどり

**桃山短歌会**

草刈りす丈深きなか忽然と清らに咲ける白の一輪  
コロナ禍で自粛解除は不安です患者の終息一日も早く  
脳トレを兼ねてペン持ち便箋にメールの返信気持ちを込めて  
つばくら  
燕よ早く大きくなれよかしくちなわの禍避け巣をば飛び立て  
みな逝きて昔を語れるは貴女だけと広島に住む友は電話で  
曾孫らの動画に心励まされ今日の一日も しあわせ 幸に生きなむ  
午後の陽を向かひに受く校庭に野球チームの白球光る

大石 武博  
品川ミヨ子  
岡本 茂子  
能美 悦子  
堀 理子  
服部ミツエ  
松原 章子

人口減少や高齢化の進行により、住民の生活に必要な生活サービスや機能が維持できなくなってきている地域がある中、暮らしを守り、地域コミュニティを維持して持続可能な地域づくりを目指す取り組みとしての事業です。

◎「小さな拠点」って何  
小学校区など複数の集落が集まる基礎的な生活圏の中で、生活サービスや地域活動をつなぎ、生活を支える新しい地域運営の仕組みをつくるうとする取組です。

この事業は、桜江町全体で様々な課題に取り組んでいきます。

◎誰がやるの  
事業の実施主体は江津市で、県の支援を受けて実施しますが、協議の場として、地域や企業などの代表者による「さくらえ地区小さな拠点事業推進協議会」を設置して、話し合いをしていきます。

◎何をやるの  
上記の目的を達成するために、次の三つのテーマで事業を進めていきます。

① 地域防災体制構築事業  
② 若年世代の定住促進事業  
③ 高齢者の生活利便性向上事業

実施期間は令和2年度から5年間で、具体的には下記のとおりです

①地域防災体制構築事業

- 1) 桜江5地区の自主防災組織を充実して、相互に連携・支援できる体制をつくる。  
⇒防災アドバイザーを招き、地区ごとの防災組織を整えるとともに、「防災まちづくり会議」(仮称)を設置して、桜江地区の体制を整備する。
- 2) 地区避難所に救助・避難支援の備品を備える。  
⇒地域ごとに必要な備品を、事業予算で整備する。
- 3) 防災リーダーを養成する  
⇒災害時の避難誘導や、避難所での対応などについて専門的な知識を持つ、リーダーを養成する。
- 4) 川越防災センターの建設

②若年世代の定住促進事業

- 1) 空き家改修補助金  
⇒改修費の2/3補助 (上限100万円)
- 2) 多世代住居改修補助  
⇒改修費の2/3補助 (上限80万円)
- 3) 拠点施設改修補助  
⇒改修費の2/3補助 (上限500万円)
- 4) 教育環境整備  
⇒学校外での子供の教育・学習環境を整えることにより、親の負担軽減を図る。(ICT学習・学習教材・場所等)



③高齢者の生活利便性向上事業

- 1) 食料品等の移動スーパー  
⇒地元商店等と連携して移動販売車を運行する。
- 2) 交流スペースの設置  
⇒生活バスや基幹バスの結節点となる川戸に、バス待合等に併せて交流できる場所を確保する。



具体的な事業の実施内容や期間は、「さくらえ地区小さな拠点推進協議会」で協議した上で、皆さんにお知らせされます。